

平成 24 年度鹿児島県内国立大学法人等事務系新規採用職員研修報告

システム情報技術系・生産技術系
比良 祥子・谷口 遥菜・伏見 和代

1. 研修期間

平成 24 年 8 月 6 日(月)～平成 24 年 8 月 8 日(水)

2. 研修目的

国立大学法人等事務系・技術系職員としての使命と心構えを自覚し、組織の一員として仕事の厳しさやマナーの大切さ、コミュニケーションの重要性を認識し、大学職員等として必要な基礎知識、技術、態度を身につけ、職務への適応力を養うことを目的とする。

3. 場所

事務局 2 階第 1 会議室

独立行政法人国立青少年教育振興機構国立大隈青少年自然の家

4. 研修内容

事務局長講話、組織・運営、個人情報保護・情報公開、中期目標・計画、大学評価及び大学の広報、人事・服務制度、財務、学生支援、情報セキュリティ、コミュニケーションとメンタルヘルス、ビジネスマナー、施設見学、班別討議 他

5. 研修報告

システム情報技術系 比良 祥子

今回、新規採用職員研修に参加して、約 11 の講義や講話等に参加することができた。コミュニケーションとメンタルヘルスの講義では、昨今増加傾向にあるといううつ病についてのお話があり、他人事ではなく誰でも罹る可能性があることやうつ状態のサイン・対処法等について学んだ。また大学の組織・運営に関する講話があり、自分自身が所属する組織について全体像を把握することができ、大変有意義な研修であった。グループ討論や懇親会等で同期の仲間との絆も深まったように思う。今後は、この研修で学んだ事を業務に活かせるように努めていきたい。

システム情報技術系 谷口 遥菜

今回の研修では、大学職員としての心構えやマナー、コミュニケーションの取り方について学ぶことができた。研修初日は緊張していたが、最初のコミュニケーションとメンタルヘルスの講義で同期職員と協力して頭や体を動かさせたので緊張を和らげることができた。2 日目には演習林や鹿屋体育大学を見学し、普段の業務では接することのない場所の方々に話を聞くことができた。その後青少年自然の家に泊まり、夕食をともにすることでより打ち解けることができた。3 日目には班別討議でまだ話していなかった同期職員とも話ができ、交流を深めることができたのでとても有意義な研修であった。

生産技術系 伏見 和代

各部局からそれぞれ異なるバックグラウンドをもつメンバーが初めて集まり、3 日間にわたり受講した今回の研修では、講義内容はいうまでもなく、普段接することが少ない同期の仲間と知り合えたことができたことが最も大きな収穫だと感じた。自分自身のことを表現することが不得手な私にとって、班ごとの討論や自己紹介ではかなり緊張もしたが、今後、研修で学んだことを実務に生かしていきたい。